

苫小牧港開港50周年記念企画展

# 夢を形に ～砂浜と原野にいどんだ時代～

2013年10月12日|土|－11月24日|日|

## 開催概要

半世紀前、日本最初の内陸掘込式港湾である苫小牧港は先人の非凡な発想と努力によって開港しました。一帯が砂浜である苫小牧の海岸には港をつくることはできないという先入観とともに採算性なども問題視され、大正時代の構想から40年もの間足踏みが続きました。そうした状況下にあっても自治体や企業、住民の熱望は絶えることはなく、1951(昭和26)年起工式が行われ砂浜を掘り込む港造りが始まりました。1963(昭和38)年、国内初の掘込式港湾として供用が開始され、その技術は鹿島新港、新潟東港、福井港などに受け継がれていきました。

本展示会では江戸時代より北海道から本州へ物資を運ぶ役割を担っていた歴史を導入とし、内陸を掘り込んでいく過程をドキュメントとして撮影した写真集『砂浜と原野にいどんで』掲載の貴重な写真や地図、浚渫(しゅんせつ)船模型などから苫小牧港が形成されるまでを紹介し、併せて現在の港の役割を知る資料や港をテーマとした絵画作品を展示し、市民と歩んだ港の歴史を振り返ります。

## 展示会のみどころ

### ①港の築設を追ったドキュメント写真を一挙公開

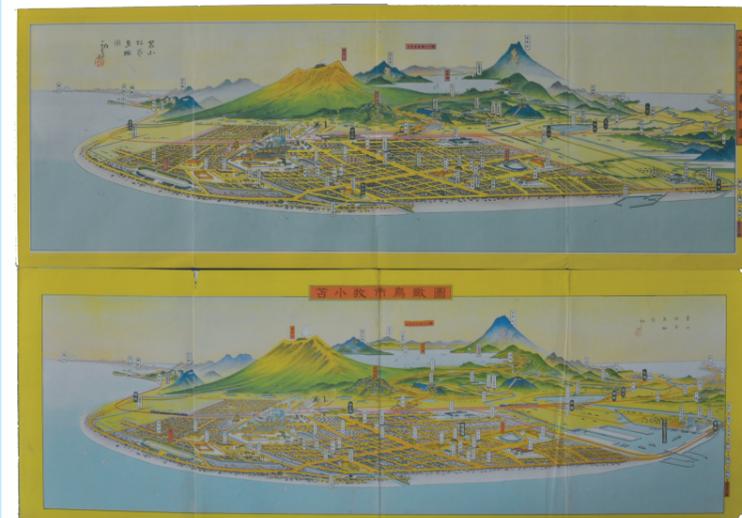
スミソニアン博物館にも所蔵される写真集『砂浜と原野にいどんで』を本展にあわせて初めてデジタル化しました。世界ではじめて港の築設を追った貴重な写真の数々をご覧ください。

### ②貴重な資料の数々でせまる港考案計画の歴史

港の歴史にかかわる、船絵馬や古地図などの貴重な歴史資料を展示します。

### ③みんなで楽しめる仕掛けがいっぱい

クイズなど体験型のコーナーを設置。小さなお子様から大人の方までみんなで楽しみながら学べます。



1 「苫小牧市鳥瞰図 昭和25年(上)・昭和28年(下)」 吉田初三郎画 苫小牧市美術博物館蔵  
2 「船絵馬 豊通丸」 門別稻荷神社蔵  
3 「船絵馬 桂丸」 門別稻荷神社蔵  
4 潜水ヘルメット 北海道開発局室蘭開発建設部蔵

## 関連イベント

■ 港の歴史フィルム上映会～人造港 苫小牧～  
日時 10月12日(土)  
11月23日(土)  
14時～15時

参加料 無料 ※展覧会観覧は有料となります。  
※当日直接会場へお越しください。

■ 歴史見学会 苫小牧港の今と昔

日時 10月26日(土)  
13時～17時

場所 苫小牧西港フェリーターミナル 美術博物館  
定員 40名 ※10月5日(土)から電話で受け付けます。  
協力 苫小牧西港フェリーターミナル

■ 展示解説会

当館学芸員が展示会場で解説をいたします。

日時 10月20日(日)、11月17日(日)

各日①10時～ ②14時～ (約60分)

※観覧券が必要です。予約不要。参加希望の方は当日会場にお越しください。

■ 文化の日 無料開館日

終日無料開館になります。

当日は当館を会場に様々なイベントも開催されます。

日時 11月3日(日・祝) 9時30分～17時

(入場は16時30分)

■ 主催 苫小牧市、苫小牧市教育委員会  
■ 後援 北海道開発局室蘭開発建設部、苫小牧港管理組合、苫小牧港50周年記念事業実行委員会  
■ 協力 苫小牧港開発株式会社、苫小牧埠頭株式会社、苫小牧信用金庫、株式会社志方写真工芸社、一般社団法人日本埋立浚渫協会

■ 開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

■ 休館日 月曜日 ただし10月14日(体育の日)、11月4日(振替休日)は開館し、翌日火曜日休館。

■ 観覧料 一般: 300円 (240円)  
大・高校生: 200円 (140円)  
中学生以下: 無料

※ ( ) 内は10名以上の団体料金

※観覧料の免除規定がありますので、ご相談ください。

※年間観覧券(一般: 900円、大・高校生: 600円)でご覧になれます。

■ 問い合わせ先

苫小牧市美術博物館・愛称《あみゆー》 担当: 武田  
〒053-0011 苫小牧市末広町3丁目9番7号  
TEL 0144-35-2550・FAX 0144-34-0408  
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutukan/>